

冠動脈の生理と題して、赤坂隆史先生の約 20 分間の講義であった。冠動脈の解剖（心外膜動脈、小動脈、細動脈、毛細血管）、酸素需要と供給についての正常例と狭心症例の違い、プレッシャーワイヤーを用いた冠予備能(CFR,FFR)等に関してであった。日常診療にて、angio 上狭窄度が変化ないように見える症例が明らかに胸痛の頻度、程度が増加する症例を経験するが、酸素需要と供給に関して講義にて、なぜであるのかが理解できた。